



JOTO Q&A

城東高校へのご質問に
お答えします

入学者選抜について

Q 高校入試について教えてください。

A 平成29年春の入試を例に挙げて説明しましょう。定員は360名で、2月の「特別入試」と「海外帰国生徒（原則として海外体験が2年以上で、帰国後2年以内）のための入試」、そして3月の「一般入試」の3つが実施されました。特別入試は国際教養分野と音楽分野に分かれ、それぞれ2年次から国際教養学類、音楽学類に進む生徒のための入試でした。海外帰国入試と一般入試で入学した生徒は2年次から4つの学類のどれを選ぶことも可能です。その他については次のとおりでした。実技の過去の問題（一部）は、本校のホームページで見ることができます。

H29年度の場合	日程	募集人員	検査の内容等	倍率
特別入試 (国際教養分野)	2月 14,15日	30名	学力検査(国数英)、面接 実技Ⅰ(注1) 実技Ⅱ(注2)	2.97
特別入試 (音楽分野)	2月 14,15日	25名	学力検査(国数英)、面接 実技(新曲視唱)(注3) 演奏実技 (声楽または任意の楽器)(注4)	1.60
海外帰国生徒入試	2月14日	若干名	面接、口頭試問	
一般入試	3月 9,10日	360から 上記合格 者を引い た数	学力検査(国社数理英)、面接	1.11

(注1) 実技Ⅰ＝「聞き取った英文をもとに、自分の考えなどを英語で書く」

(注2) 実技Ⅱ＝「英文の音読、その後英語による口頭での質疑応答」

(注3) 中学校で学習する程度の演奏記号(強弱記号など)を含む、20小節程度の新曲課題

(注4) 声楽又は任意の楽器で5分以内の演奏(ただし、ピアノの場合はバロック、古典・ロマン派のピアノ作品の中から任意の曲を演奏する(緩徐楽章は除く))

校風について

Q 城東生の気質は?

A 「進取・協同」の校訓が示すとおり、何事に対しても前向きに取り組み、お互い協力し合いながら目標に向かってチャレンジする気風にあふれています。多くの生徒が自主自律の精神を持ち、友人と切磋琢磨しながら自己を高めようと努力しています。学習面では、落ち着いて集中する姿勢に富み、はじめのある集団となっています。また、全県学区の高校であり、毎年県下各地はもとより海外からも生徒が入学してくるため、多くの出会いがあり、新鮮な気持ちで高校生活を始めることができます。そのことにより、お互いを尊重し、相手の気持ちを大切に人間として成長することができます。

Q 施設・設備は充実していますか?

A 校舎の周囲にはたくさんの樹木が植えられ、緑豊かな環境が整っています。2か所ある中庭は、コンサートなど多目的に利用されています。設備面では、各HRだけでなく、全ての特別教室にエアコンが設置され、また、全教室にLAN配線が設備されています。本校独自の施設として、生徒が昼食時間や放課後などに自由に利用できるコモモンホールがあり、憩いの場となっています。さらに自習のためのラーニング室もあり、早朝、放課後、土曜日、長期休業中と多くの生徒に利用されています。校内3か所に設置されたインフォメーションボード(モニター画面)により、生徒への情報伝達が行われています。

他に40台余りのパソコンを設置したコンピュータ室が2室、その他コモモンホールや図書館に生徒が利用できるパソコンが150台以上(うちタブレット約40台)あります。また、全ての普通教室にパソコンとプロジェクターが設置され、現在普通授業で活用されています。別棟の校友会館には食堂があり、定食をはじめ豊富なメニューが揃っており、昼食時には多くの生徒で混み合っています。

貴重品の保管には、すべての生徒に対し、個人ロッカーが用意されています。

Q 校則はどうなっていますか?

A 城東生は校則を最小限度にとどめ、生徒自身が自らの行動に責任を持つことで、人間的に成長しようという「自主・自律の4原則」を受け継いできました。校則による禁止事項はありますが、生徒の自主的・自律的な判断と討議による決定を最大限に尊重して校内の「ルール」が作られています。不合理な点があれば校則検討委員会→生徒会執行部を中心にクラス討議→生徒総会の手続きを経て校則改定を提起できるようになっています。スマートフォン(携帯電話)についても、生徒による討議を経て、生徒自身で使用ルールを決めています。

Q 学校祭について教えてください。

A 城東高校では、学校祭を「翠緑祭(すいりょくさい)」と呼びます。スクールカラーである「緑」を基調に第一期生に名称を公募し決定して以来、この名称で親しまれています。今年文化の部を9月8日(金)と9月9日(土)に行い、体育の部を9月12日(火)に行います。9日(土)の文化の部は一般に公開します。毎年2千人を超えるお客様をお迎えし、今なお進化し続ける学校祭です。

生徒の有志によって組織された「翠緑祭実行委員会」が企画・運営を行っています。「奏(かなで)」「翔(かける)」「響(ひびき)」「蓮(れん)」「陽(よう)」など、学校を取り巻く情勢を反映したテーマが公募によって決定され、そのテーマの趣旨に沿って各部・委員会・クラス・有志の展示・発表が行われています。この内容については、多方面から高い評価を受けています。特に、全校生徒が参加してつくる巨大モニュメント「全校制作」は、翠緑祭のシンボルになっています。

Q 部活動は盛んですか？

A 部活動と勉強との両立は高校生にとって難しい課題です。しかし、城東高校では全校生徒の90%以上が何らかの部・同好会（合わせて32ある）に所属しており、朝・放課後・休日と意欲的に活動しています。日頃の短い練習時間を集中力と練習メニューの工夫、合宿などでカバーし、対外試合やコンクールなどで優秀な成績を収めています。平成28年度の主な成績は次の通りです。

文化部では、合唱部、放送部、ESS部、ダンス部、書道部、写真部が全国大会、音楽学類からはピアノやヴァイオリンなどで多数の生徒が、また、個人ではビブリオバトルの全国大会へ出場し、好成績を収めています。

運動部では、バドミントン部、陸上競技部がインターハイ出場し、個人ではバスケットボールで国体選抜選手として出場、インラインスケートは世界大会に出場しました。中国大会へは多くの部が出場しました。

この他にも、多くの部が毎日熱心に練習に励み、県大会で優秀な成績を収めています。

このように城東高校では、多くの部および個人が試合やコンクールで活躍するとともに、「文武両道の城東」を目指して日々活気ある活動を行っています。

Q 翠緑祭の他にはどのような学校行事がありますか？

A 1年次では、5月上旬に2泊3日の宿泊研修が行われます。クラスの連帯を強め、自主的・主体的に物事に取り組む城東生となることを目指してクラス討議や合唱コンクール・カッター訓練などの活動を行います。

また、1年次の夏休みには海外文化体験研修が行われています。平成29年度はオーストラリア（ブリスベン）とカナダ（バンクーバー）コースに分かれ、実施されます。現地ではホームステイをし、語学研修とともに貴重な異文化体験ができます。2年次では、学類研修があります。それについてはpp.11-12で詳しく説明しています。

その他の特色ある学校行事としては、生徒会主体の書華美展や球技大会、秋のウォーキング（1年次）、スキースノーボードスクール（1年次希望者）、弁論大会（1・2年次）、百人一首大会（1年次）などがあります。また、学類の特色を生かして、国際教養学類の生徒が運営する城東高校杯中学生英語スピーチコンテストや英語集中合宿（関谷学校で1泊2日）、音楽学類と吹奏楽部・管弦楽部・合唱部による定期演奏会（12月下旬、岡山シンフォニーホール）があります。年間を通じてたびたび行われる中庭コンサートや書道部のパフォーマンスは、生徒全員が楽しみにしています。城東高校のホームページのブログで、いろいろな行事を紹介していますので、ぜひご覧ください。

学類研修について

Q 城東高校では修学旅行でなく学類研修が行われていると聞きましたが、その内容を教えてください。

A 学類での専門的な学びをグローバルな体験を通して深める目的で実施しています。平成29年度は人文社会学類は東京とマレーシアから選択、国際教養学類と音楽学類は韓国、理数学類は北海道と筑波・東京、マレーシアから選択という内容です。海外のコースでは現地の高校生との交流や合同の研修、大学での研修のほか、クアラルンプール市内での自主研修を行います。国内のコースでは、文化・自然体験や留学生との交流、大学や研究所での研修や班ごとの自主研修というように、どのコースも充実したプログラムで実施します。従来の修学旅行に比べて、より深く文化・自然を体験するとともに、現地で多くの人たちと交流することができます。

Q 城東高校の進路指導について教えてください。

A 城東高校では、2人担任制（一部3人担任）をとっており、学期ごとの面接週間だけでなく必要に応じて繰り返し個人面談を行い、生徒一人ひとりに対し、きめ細やかに相談に応じています。面談では個々の生徒の進路志望を大切にしつつ、多くの資料を用いながら目標実現や不得意科目の克服のための方策を探っていきます。そして、学生として社会人としてどのように生きていくかを考えながら、そのために今何をすればよいのか話し合います。

また、ロングホームルームでの大学（学部・学科）調べ、1年次での希望者による東京大学での研修、2年次での学類研修、各年次での高大連携事業による大学の講義の受講、社会人講師の招聘など、進路を考える機会を数多く設けています。さらに、TOEICテスト（国際的コミュニケーション英語能力テスト）を校内でも受験でき、この得点を大学受験の際に生かすこともできます。難関大学志望者や小論文・口頭試問・プレゼンテーションなどを受験に利用する生徒に対しては個別指導を継続的に行っています。定期考査後の補充学習や希望者対象の土曜講座などで、教科の内容を補うこともできます。

進路指導課では、年次ごとに「時計台」という進路だよりを月3～4回程度発行し、タイムリーな情報を提供しています。進路資料室には、多くの進路資料が備え付けられ、生徒が自由に閲覧できるようになっています。

SGH（スーパーグローバルハイスクール）について

Q SGHで勉強したことは役に立つの？

A もちろん役立ちます。「スーパーグローバル大学（SGU）」が指定され、大学入試も変革の時期を迎えています。今までの「覚える」学習から脱却し、これからは「考える」学習スタイルを身につける必要があります。SGHの課題研究では、正解のある問題を一人で解くのではなく、正解の無い問題をチームで考える体験ができます。これは大学入試だけでなく、社会人として必要不可欠な能力の育成に直結する学習だと言えるでしょう。

現在進んでいる大学入試改革では、現在の中学3年生が受験する平成33年度入試から、AO入試、推薦入試、一般入試において、自らの考えに基づき論を立てて記述する小論文やエッセイ、プレゼンテーション、総合的な学習の時間などにおける探究的な学習の成果などが評価されるようになります。（『高大接続改革の進捗状況について』[文科省H29/5/16発表]）SGHの活動は、まさにその際に役立つ学習となります。

学類について

Q 学類とは何ですか？

A 2・3年次における、進路や系統に沿った選択科目群、およびそれを選択した生徒の集まりのことを指します。本校では「人文社会学類」「国際教養学類」「音楽学類」「理数学類」の4つの学類があります。

Q 学類は自由に選べるのですか？

A 一般入試、および海外帰国生徒入試で合格した人は自由に選ぶことができます。1年次に自分の適性をよく考え、2年次になる時に進路に応じた学類を選ぶことができます。ただし、特別入試で「国際教養分野」で合格した人は国際教養学類に、「音楽分野」で合格した人は音楽学類に所属することになります。ですから特別入試を受検する場合は、それぞれの学類の特長を生かした進路を考えておくことが大切です。

Q 学類に定員はありますか？

A ありません。